

迅速な応急対策、早期復旧に向けた 物流ネットワークの構築

(事務局：中部地方整備局)

迅速な応急対策、早期復旧に向けた物流ネットワークの構築

◆目的

東日本大震災等の大災害においては、物流ネットワーク等において様々な課題がみられたことから、「1.災害に強いものづくり中部の構築」、「2.災害に強い物流システムの構築」、「7.防災拠点のネットワーク形成に向けた検討」、「8.道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定」が相互に連携し、**迅速な応急対策、早期復旧に資する物流ネットワークを構築**するため、本ワーキングを設立。

◆ワーキング検討経緯

第4回 中部圏戦略会議 本会議 平成25年 5月24日

第1回 ワーキング 平成25年11月20日

第2回 ワーキング 平成26年 1月22日

第3回 ワーキング 平成26年 2月26日

「迅速な応急対策、早期復旧に向けた物流ネットワークの構築に関する検討とりまとめ（一次報告案）」の策定
平成26年 3月18日

第4回 ワーキング 平成28年 1月8日

迅速な応急対策、早期復旧に向けた物流ネットワークの構築

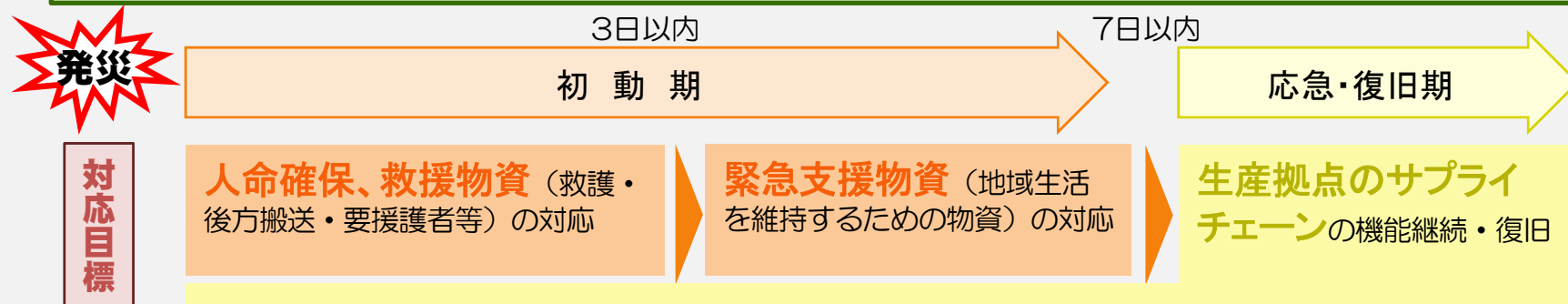
◆ワーキング設立主旨

◎迅速な応急対応、早期復旧に向けた物流ネットワークの構築



- 1.災害に強いものづくり中部の構築【企業】
- 2.災害に強い物流システムの構築【物流ストック・輸送】
- 7.防災拠点のネットワーク形成に向けた検討【物資受入、分配拠点】
- 8.道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定【輸送手段の確保】

中部地方整備局、中部経済産業局、中部運輸局、大阪航空局、国土地理院でWGを設立し、検討。



◎各機関相互の連携がないと解決が難しく、かつ、重点的に対応すべき事項を選定。

①重要拠点※への優先啓開経路の見直しの検討

（※防災拠点、公的・民間物資拠点、医薬品備蓄場所、災害拠点病院、工業団地、エネルギー関連など産業インフラ拠点）

②物流に資する情報共有、提供方法および収集等の検討

（Ⅰ）関係行政機関内における情報共有項目の整理（保有情報、必要情報の把握、抽出）、共有手段の検討

（Ⅱ）物流事業者、企業等への情報提供方法、および事業者からの情報収集手段の検討

迅速な応急対策、早期復旧に向けた物流ネットワークの構築

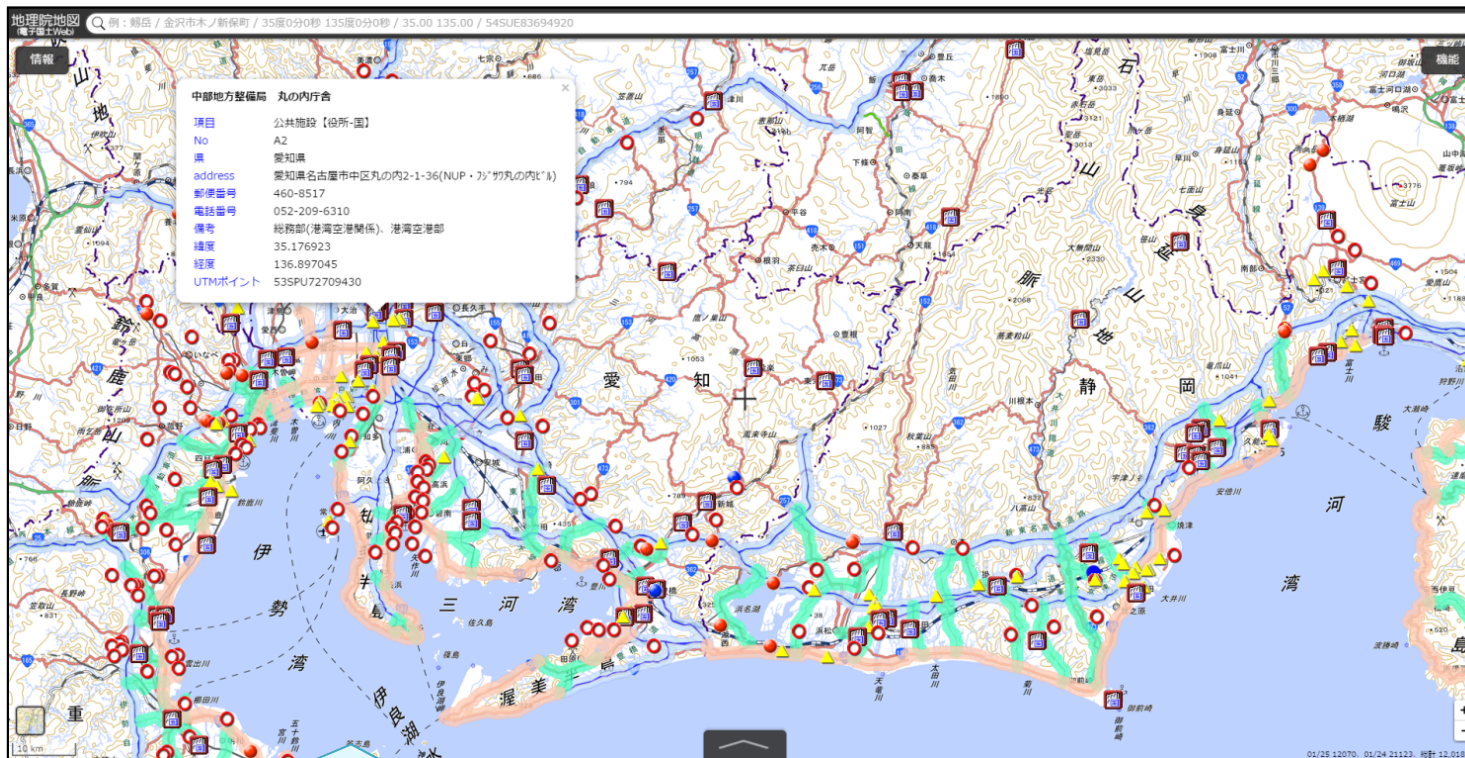
◆「各機関相互の連携がないと解決が難しく、かつ、重点的に対応すべき事項」への対応

重点的に対応すべき事項		これまでの成果
①重要拠点への優先啓開経路の見直し の検討		✓重要拠点を整理した中部拠点一覧の作成 ✓「中部版くしの歯作戦」の改訂に伴い、中部拠点一覧を更新
②物流に資する 情報共有、提供 方法及び収集等 の検討	(Ⅰ) 関係行政機関内における情報共有項目の整理（保有情報、必要情報の把握、抽出）、共有手段の検討	✓情報共有ツールを決定 (地理院地図の活用) 平成27年度取り組み ✓行政機関間の連絡リストの作成
	(Ⅱ) 物流事業者、企業等への情報提供方法、及び事業者からの情報収集手段の検討	✓名古屋タクシー協会と「災害時の情報提供等に関する協定」を締結

迅速な応急対策、早期復旧に向けた物流ネットワークの構築

平成27年度の取り組み

情報共有ツールを決定（地理院地図の活用）



重ね合わせ図の作成・
更新ルールマニュアル（案）

重ね合わせ図の作成・
更新ルールマニュアル（案）

平成 28 年 3 月

迅速な応急対策、早期復旧に向けた
物流ネットワークの構築ワーキング

防災拠点等の情報を地理院地図（電子地図）で重ね合わせ可能なデータ化を行うことにより、各機関相互に拠点情報の見える化を図り、データによる情報共有を可能とした。

資料収集から情報共有までの運用をマニュアル化することにより、統一的な情報管理を可能とした。

今後の取り組むべき課題

- 中部圏の各種情報の継続的な更新、共有。
- 重ね合わせ情報について共有可能な他の機関の有無や、またその内容の充実に向けて引き続き検討。
- 情報伝達の向上と、関係機関間における迅速な情報共有の確認を目指した訓練の実施。
- 情報収集範囲の充実。
- 物流事業者等への情報提供方法について引き続き検討。